

< 戦後の県民生活 >

満州事変から太平洋戦争までの15年間に及ぶ戦争は、昭和20年(1945)8月15日の終戦によって幕を閉じました。

国民は、敗戦という経験したことがない状況の中で、日本の再建と平和の構築に向けて努力していくことになります。

※ 写真は、「戦後50周年記念 援護の歩み」(岡山県)から抜粋。禁転載。



屋根の落ちた岡山市公会堂を教室にし遊技する児童。多くの学校が戦災で焼け、運動場や寺で学校を再開した。

(昭和20年9月・岡山市)



岡山駅に到着した列車から、続々と降り立つ復員者たち

(昭和21年5月
・岡山市)



岡山駅前付近の焼け跡にできたヤミ市には、靴や帽子、衣類など雑多な品が並んだ。
(昭和21年頃・岡山市)



旧防空壕などに寝起きしていた岡山市の戦災孤児たちが当時の津島更正館に收容された。
(昭和21年9月・岡山市)



西粟倉村影石小学校で、児童の頭のシラミをとる教師たち。せっけんや医薬品不足で繁殖し、県内各地で行われた。
(年代不明・西粟倉村)



未帰還者の復員促進を訴える
家族のデモ行進
(昭和22年2月・岡山市)



新憲法施行を祝ってパレードする女子高校生
(昭和22年5月・岡山市)



寝る場所もなく、岡山駅前を生活の場とする人たち
(昭和23年頃・岡山市)



岡山駅前で、家族と感激の対面をする
シベリアからの引揚者
(昭和24年7月・岡山市)



岡山市鹿田小学校で、全国
に先駆けて、パン、ミルク、
おかずの完全給食が始まった。
(昭和26年1月・岡山市)



平和条約発効で、日本は独立を回
復。日の丸を振って喜ぶ岡山市内山
下小学校の児童
(昭和27年4月・岡山市)